

有音樂臨還御被獻鷹馬犬等馬四疋鷹口聯犬二疋○又見日本紀略御遊抄

○按ズルニ村上天皇ハ此年四月廿日踐祚シ廿八日即位シ給ヘリ、

〔日本紀略九條〕寛和二年七月廿二日戊子天皇即位於大極殿 十二月廿日甲寅行幸圓融院○圓融

有御對面僧俗官勸賞

〔百練抄四後冷泉〕永承五年十月十三日始行幸○後冷泉御東北院○後冷泉御祖母彰子是踐祚之後未見而仙院年來

之間有固辭○又見扶桑略記

〔扶桑略記二十九條〕治曆五年○延久元年八月十六日庚戌行幸閑院拜觀母儀仙院○陽明門禎子踐祚之後初

拜觀也

〔中右記〕寛治二年正月十七日院河○白於大炊殿南庭御覽行幸河○堀日舞等舞人衣冠左萬歲樂蘇合輪臺秦王打毬

樂散手右地久新島蘇林歌新鞆鞆狛梓貴德今日兩侍中從事 十九日丁卯初○即位後有行幸院大炊殿今朝雨雪紛々庭上

敷粉依可延引否間時刻推移未時寄鳳輦鈴契警蹕如常近々之間行幸被用步儀但諸衛次將闕腋

平胡籙靴隨身狩胡籙如例○中略送物横笛付銀枝按察大納言被取之琵琶一面源大納言被取之御手本二卷有靈內大臣取之

○又見十代要略

〔紫花物語紫野〕としかへりぬれば○寛治二年正月ゐん河○白に行幸河○堀ありめでたくよそほしきぎし

きなるに御びづらゆひておりさせ給へるはすゝろなる人だになみだとまらずましてゐんの

御ころのうちににはいふかたなくなんおぼしめされけるゐんの人○藤原師實の人などかゝ

いしめでたし

〔續古事談王道后宮〕堀河院初テ朝觀行幸ニ御笛フキ給ケルニハ御笛ノ師政長朝臣息男有賢殿

上ユルサレケリ、

○按ズルニ玉海承安五年正月四日朝觀行幸ノ條ニ抑主上令吹御笛給事近古例寛治三年正